



取扱説明書

- 人感センサ
- 温度センサ
- 扉開閉センサ
- 受信機





目次

◆ 安全にお使い頂くために	p.1
◆ 商品説明	p.2
◆ 機器の取付方法	p.4
◆ 設定方法	p.8
◆ 仕様書	p.26



安全にお使い頂くために

本製品を安全に正しくお使い頂くため、本マニュアルに重要な情報を記載しています。
このマニュアルは本製品設置後もお覧になれる様、大切に保管して下さい。

■ 安全上のご注意

警告

火災・感電の原因になります。

- 絶対に分解・改造をしないで下さい。
- 指定の電源電圧以外で使用しないで下さい。
- 本製品内部に水などの液体を入れないで下さい。
- 異常な臭いや音がする場合は直ちに使用を停止して下さい。

注意

- アダプターを抜く際は、電源コードを引っ張らないで下さい。
コードが傷つき、火災・感電の原因になります。必ずアダプター本体を持って抜き差しして下さい。

商品説明

■ センサ

温湿度センサ



居住スペースの壁に設置します。

一定の温度（自由に設定可能）を超えるとアラームメールが通知されます。

人感センサ



トイレやお風呂の壁や天井に設置します。

設定した時間帯にトイレやお風呂にいることが確認されたらアラームメールが通知されます。

扉開閉センサ



冷蔵庫やトイレなどの、生活に欠かせない家具の扉に設置します。扉開閉の様子はパソコンや携帯端末で確認できます。生活の様子の確認に使用します。

■ 受信機



各センサのデータを集約しクラウドへアップロードします。各センサから100m以内の設置であれば、受信可能です。Wi-Fiやインターネットの環境があれば、それに繋げることで通信費なしで使用できます。


Osiyell専用サイト

Osiyellはパソコンまたは携帯端末で見守りができます。

⇒パソコン  を使用される場合

①下記のURLにアクセスしてください。

<https://cloud.milesight-iot.com/#/index/login>

- ②画面右上の  のメニューから日本語(Japanese)を選択してください。
- ③メールアドレスとパスワードを入力してログインしてください。
- ④画面の設定方法や操作方法はp.16から参照願います。

⇒携帯端末  を使用される場合

①専用のアプリケーションをダウンロードしてください。Android版とiOS版があります。



- ②メールアドレスとパスワードを入力してログインしてください。
- ③パソコンで設定したセンサの、現時点の状態が表示されます。



機器の取付方法

■ 電源を入れ、機器を取り付けます。

1. 各々のセンサの電源を入れます。

◇温湿度センサ

- ① センサの裏側のネジ（4本）を外し、裏側のカバーを外します。
- ② 写真のボタンを3秒以上押します。ボタン近くのランプが緑色に点灯します。



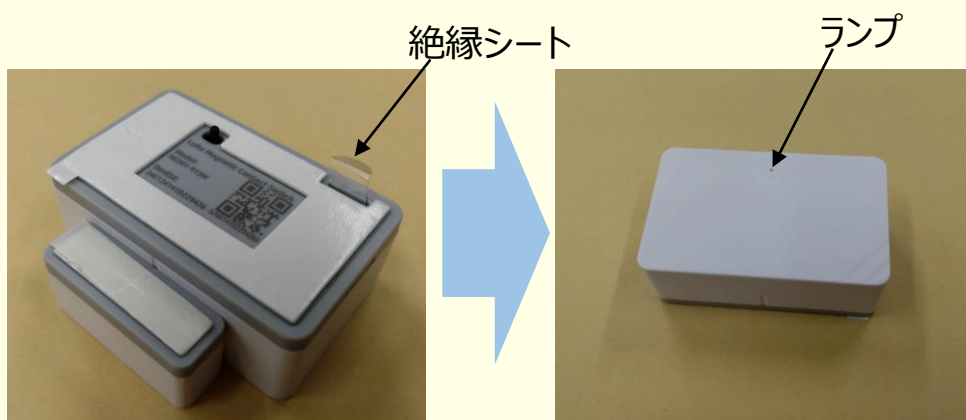
◇人感センサ

- ① センサの裏側の電源ボタンを3秒以上押します。
- ② センサ表側の上が緑色に点灯します。以降、通常はセンサ表側のランプは消灯した状態となります。



◇扉開閉センサ

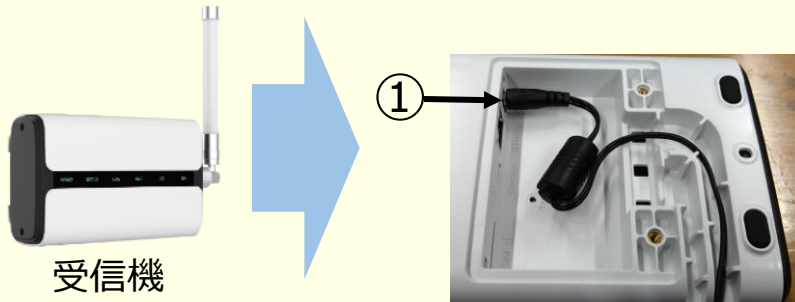
- ① センサ裏側に出ている透明の絶縁シートを引き抜きます。
- ② センサ表側のランプが緑色に3秒間 点灯します。



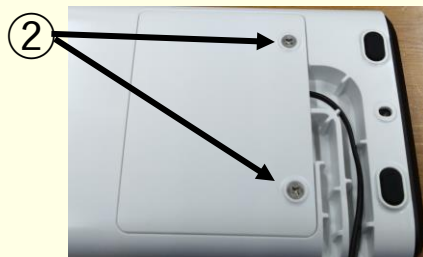
2. 受信機の電源投入と設置をします。

◇電源を投入します。

①受信機の裏側のフタを外し（ネジ2本）、写真のように電源ケーブルを差し込みます。



②フタをしネジでしっかり固定します。



③100Vのコンセントへアダプターを差し込みます。



～設置する場合のポイント～

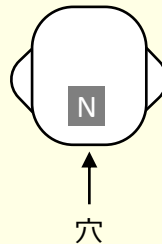
simを使った通信の場合は窓の近くに設置してください。
Wi-Fiの場合はルーターの近くに設置してください。
有線LANの場合は、設置場所は問いません。

設置は、据え置きまたはアタッチメントを使用して壁への固定が可能です。

3. 各々のセンサーを取り付けます。

◇温湿度センサ

- ① ご利用者様が普段生活している部屋で、ご利用者様に近い壁の上方にネジ止めまたは両面テープで設置します。
- ② 設置の向きについて、側面に穴が開いている面が下側です。



◇人感センサ

アタッチメントまたは両面テープを使い、ご利用者様の長時間滞在が検知できる位置に設置します。

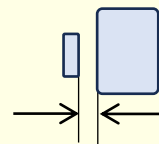
◇扉開閉センサ

両面テープを使い、ご利用者様の長時間滞在が検知できる位置に設置します。

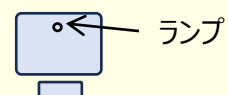


設置例

- ① 扉を閉めたときに2つの部品の距離が10～15mmとなるように、設置位置を調整してください。設置は部品に貼付け済みの両面テープで実施してください。



- ② 2つの部品が15mm以上離れたとき、または15mm以内に近づいたとき、ランプが緑色に1回点滅します。大きい方の部品が設置個所から剥がれたときはランプが赤色に1回点滅します。また、正しく設置できたときは緑色に1回点滅します。

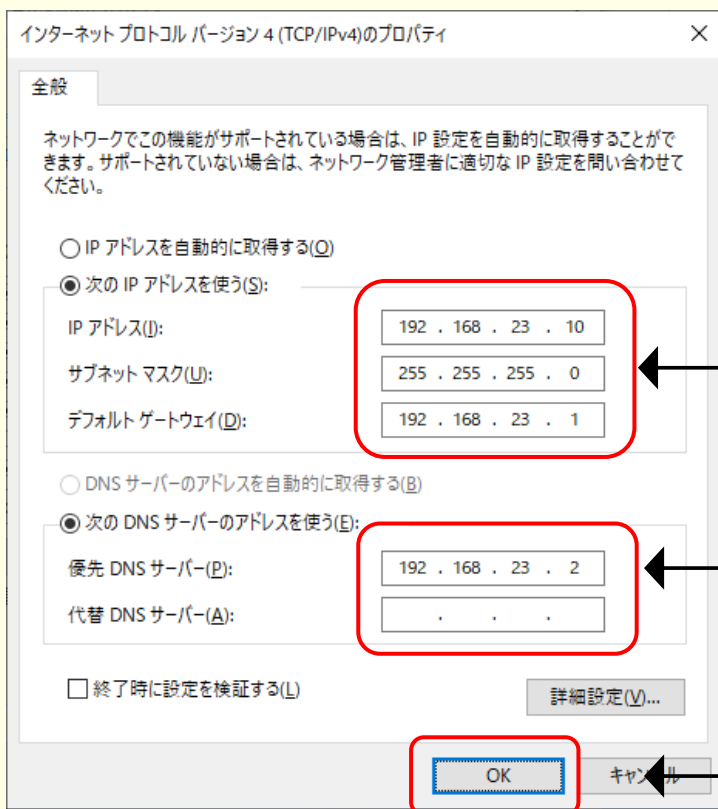


設定方法

■ 受信機の設定準備をします。

お客様に納入する際は全て設定済みの状態で納入いたします。以下の設定は、機器の不具合等で再設定が必要な場合の設定方法です。

1. PCイーサネットのIPアドレスを設定します。



① IPアドレスを入力します。
左の通りに入力してください。

② DNSサーバーを入力します。
左の通りに入力してください。

③ 入力後、OKをクリックします。

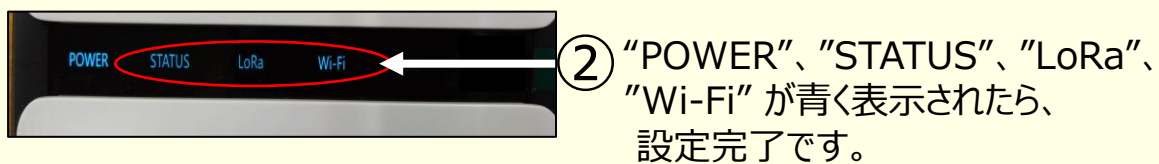
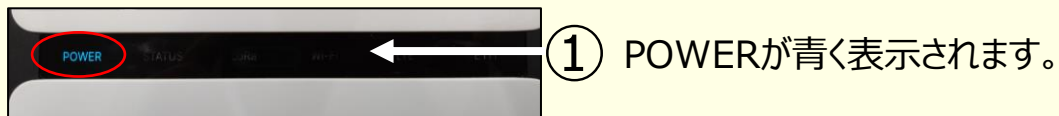
2. 受信機に電源プラグとLANケーブル、SIMカードを差し込みます。



受信機

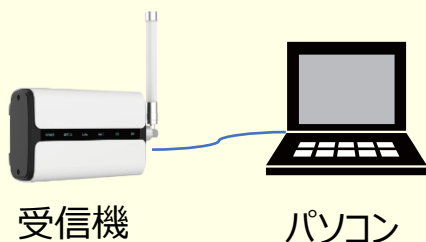


3. 受信機の表示を確認します。



4. パソコンにLANケーブルを接続します。

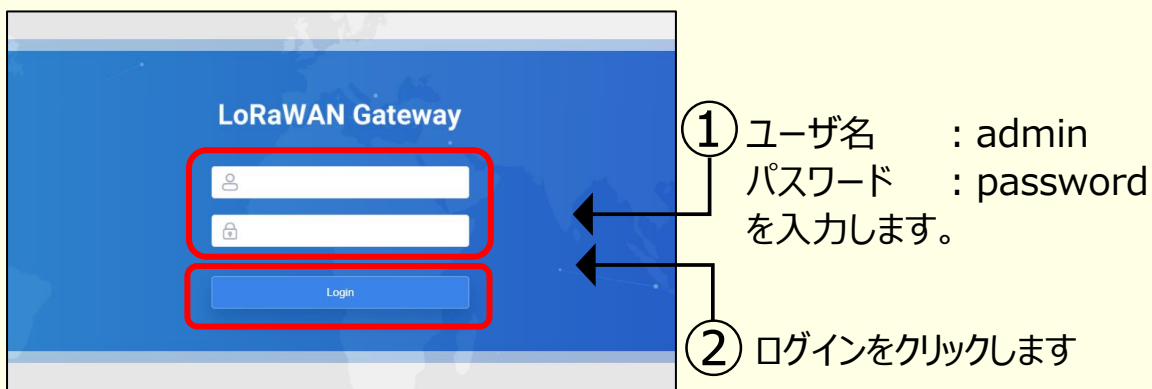
③ 受信機のLANケーブルをPCに差し込みます。



5. アドレスを入力します。

① ブラウザのアドレスバーに 192.168.23.150 を入力します。

◇ログインする画面が表示されます。



※初回ログイン時は、次の画面が表示されます。

1

LoRa Antenna Type

2

Change Password

Step 1: Choose Your LoRa Antenna Type

Please confirm whether your device uses external antennas or not, which will affect your product signal.

Internal Antenna

External Antenna

① External Antenna にチェックを入れます。

② **Next** をクリックします。

1

LoRa Antenna Type

2

Change Password

Step 2: Change Your Default Password

For your device security, please change the default password in time.

Old Password

New Password

Confirm New Password

③ 古いパスワードを入力します。
パスワードは
password

④ 新しいパスワードを入力します。
※当社の出荷時のパスワードは
pass1234
に設定しています。

⑤ **Save** をクリックします。

次に切り替わる画面でどの項目でも良いのでクリックすると、ログイン画面に変わります。
ユーザ名を入力し、新しいパスワードを入力してログインしてください。

6. クラウドモードを設定します。

LoRaWAN Gateway

Status

Packet Forwarder

Network Server

Protocol Integration

Network

System

Maintenance

APP

General

Applications

Payload Codec

Profiles

Packets

General Setting

Enable

Platform Mode

NetID

Join Delay sec

RX1 Delay sec

Lease Time hh-mm-ss

Log Level

Global Channel Plan Setting

Channel Plan

Channel

Additional Channels

① Network Server をクリックします。

② Platform Mode にチェックを入れます。

The node devices and gateway devices added will be cleared after enabling Platform Mode, please confirm whether to enable it?

Confirm

Cancel

③ Confirm をクリックします。

Status

Packet Forwarder

Network Server

Protocol Integration

Network

System

Maintenance

APP

General

Applications

Payload Codec

Profiles

Packets

Platform Mode

IoT Cloud

NetID

Join Delay sec

RX1 Delay sec

Lease Time hh-mm-ss

Log Level

Global Channel Plan Setting

Channel Plan

Channel

Additional Channels

Frequency(MHz)

Min Datarate

Save & Apply

④ IoT Cloudになっているか確認してください。

⑤ Save&Applyをクリックします。

7. Wi-Fiを無効化します。

① Network をクリックします。

② Interface をクリックします。

③ WLAN をクリックします。

④ Enableのチェックを外します。

⑤ Save をクリックします。

⑥ 右上に **Apply** ボタンが現れるので、クリックする。

Apply



⑦ 受信機の表示から “Wi-Fi” が消えていることを確認します。

8. LTE通信を設定します。

① Network をクリックします。

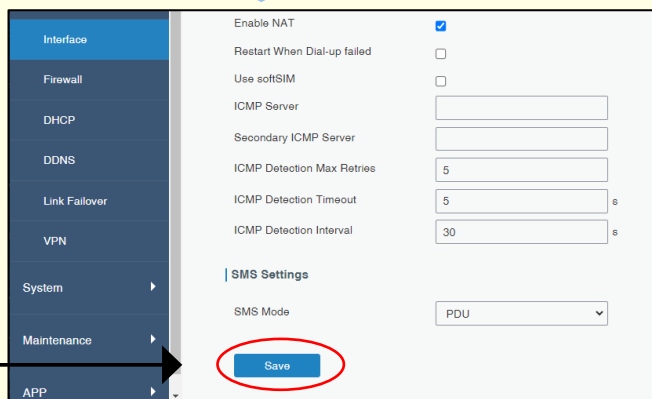
② Interface をクリックします。

③ Cellular をクリックします。

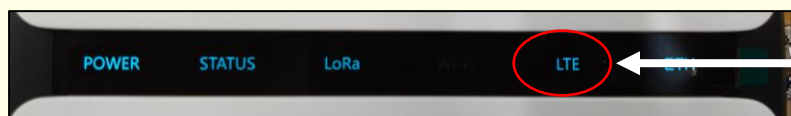
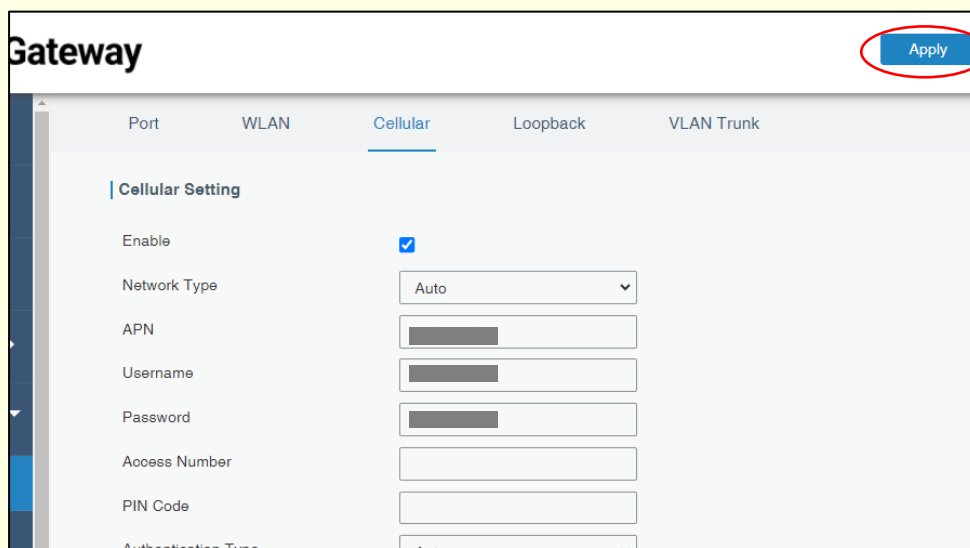
- ③ Enable にチェックをいれます。
- ④ APN, Username, Password を入力します。

※入力内容は、simカードの設定情報を参考にして下さい。

5 Save
をクリックします。

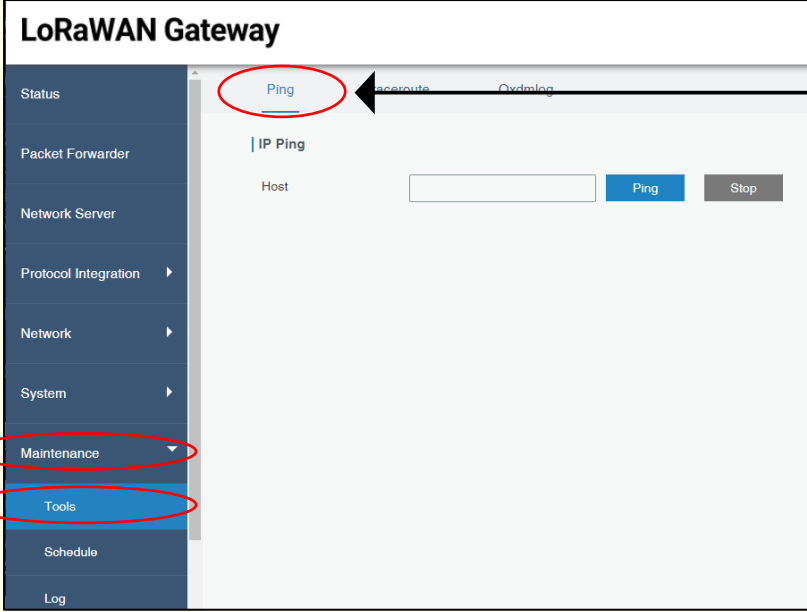


6 Apply
をクリックします。



6 受信機の表示に、“LTE”が青く表示されることを確認します。

9. インターネットの接続を確認します。

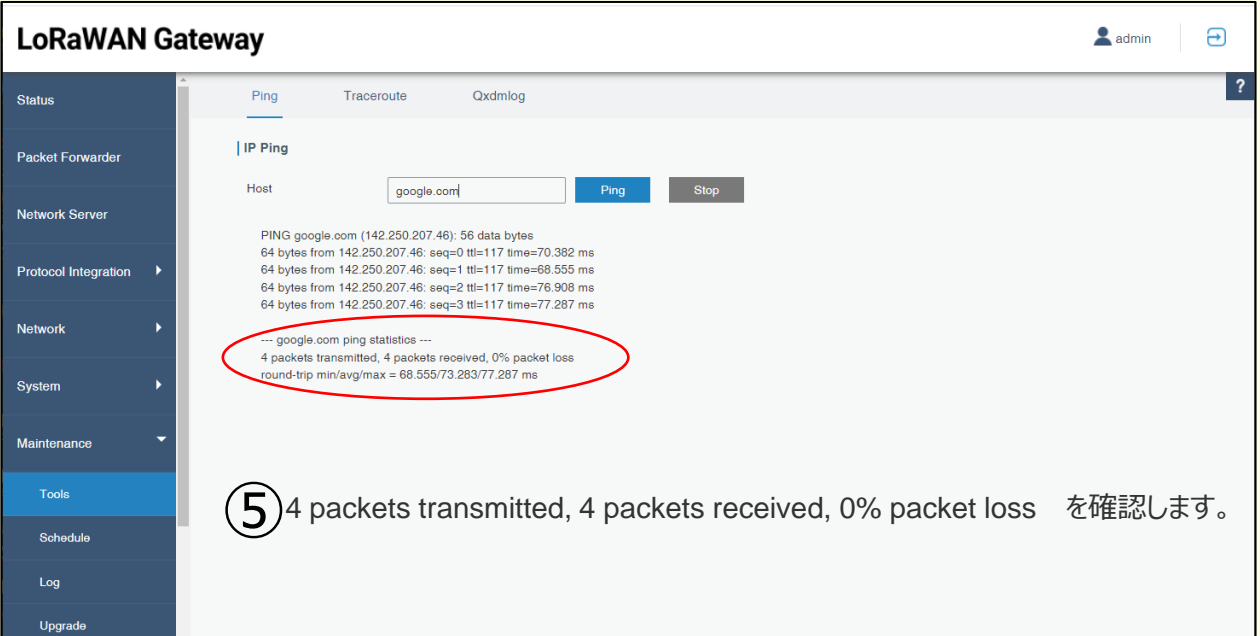
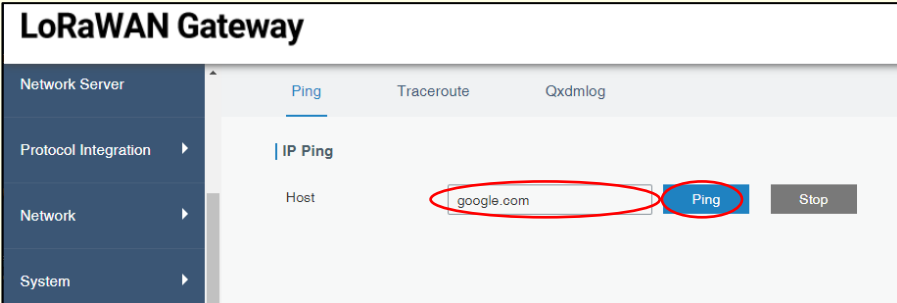


① Maintenance をクリックします。

② Tools をクリックします。

③ Ping をクリックします。

④ Host の空欄に google.com を入力し Ping をクリックします。



```
PING google.com (142.250.207.46): 56 data bytes
64 bytes from 142.250.207.46: seq=0 ttl=117 time=70.382 ms
64 bytes from 142.250.207.46: seq=1 ttl=117 time=68.555 ms
64 bytes from 142.250.207.46: seq=2 ttl=117 time=76.908 ms
64 bytes from 142.250.207.46: seq=3 ttl=117 time=77.287 ms

--- google.com ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 68.555/73.283/77.287 ms
```

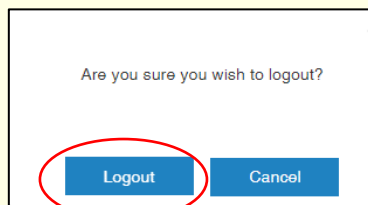
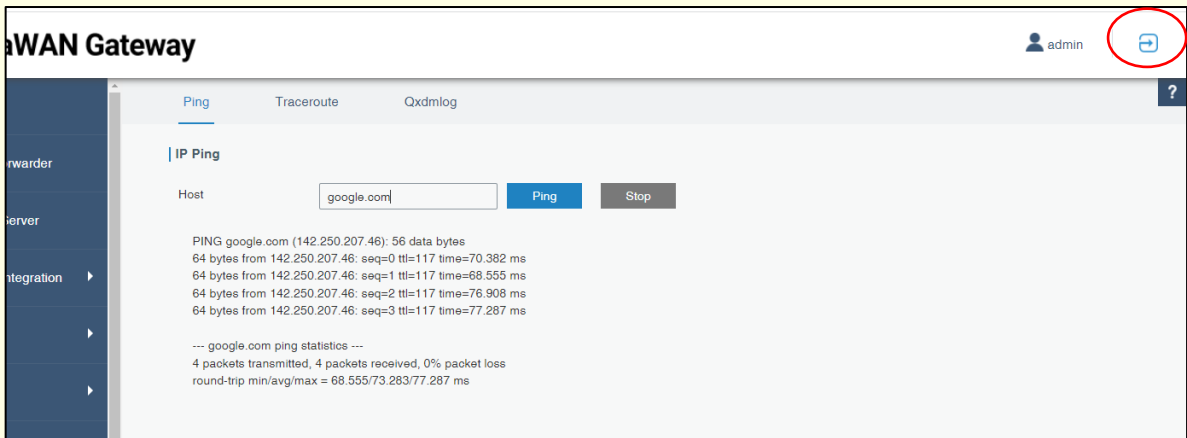
⑤ 4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss を確認します。

受信機がインターネットへの接続が成功していることを示しています。

受信機の設定は以上で終了です。

10. 設定画面を閉じます。

① 右上のボタンをクリックし、ログアウトしてください。



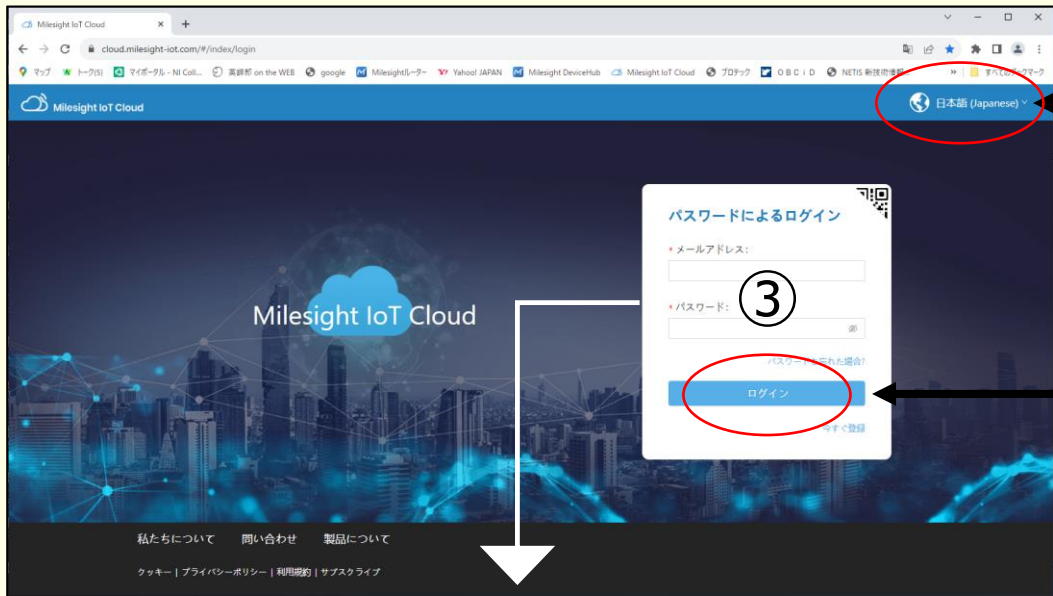
② Logout をクリックします。

■見守り画面の設定をします。

お客様に納入する際は全て設定済みの状態で納入いたします。以下の設定は、機器の不具合等で再設定が必要な場合の設定方法です。

- ① 見守りの状態は、クラウドにアクセスすることで確認できます。
クラウドのURL

<https://cloud.milesight-iot.com/#/index/login>



The screenshot shows the login page of the Milesight IoT Cloud. A language dropdown menu in the top right corner is set to '日本語 (Japanese)'. The login form in the center has fields for 'メールアドレス:' and 'パスワード:'. The 'パスワード:' field is circled in red and labeled with '③'. Below the password field is a blue 'ログイン' button, also circled in red and labeled with '④'. A red circle around the language dropdown is labeled with '②'. A white arrow points from the login form area down to the next section.

② 言語を日本語にします。

③

④ ログインをクリックします。

- ③ ユーザー名とパスワードはGmailのアドレスとパスワードを使用します。
この資料では、検証用のアカウント
Gmailアドレス ProTech.Mimamori.Dev02@gmail.com
パスワード DevTest-110+119@Protech50
でログインした場合で説明します。

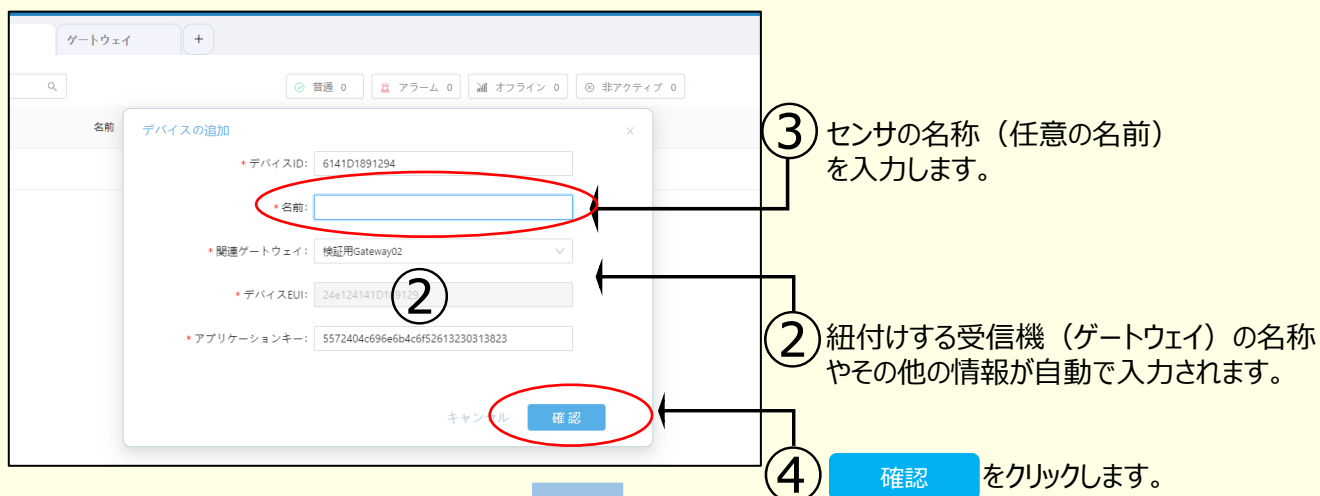
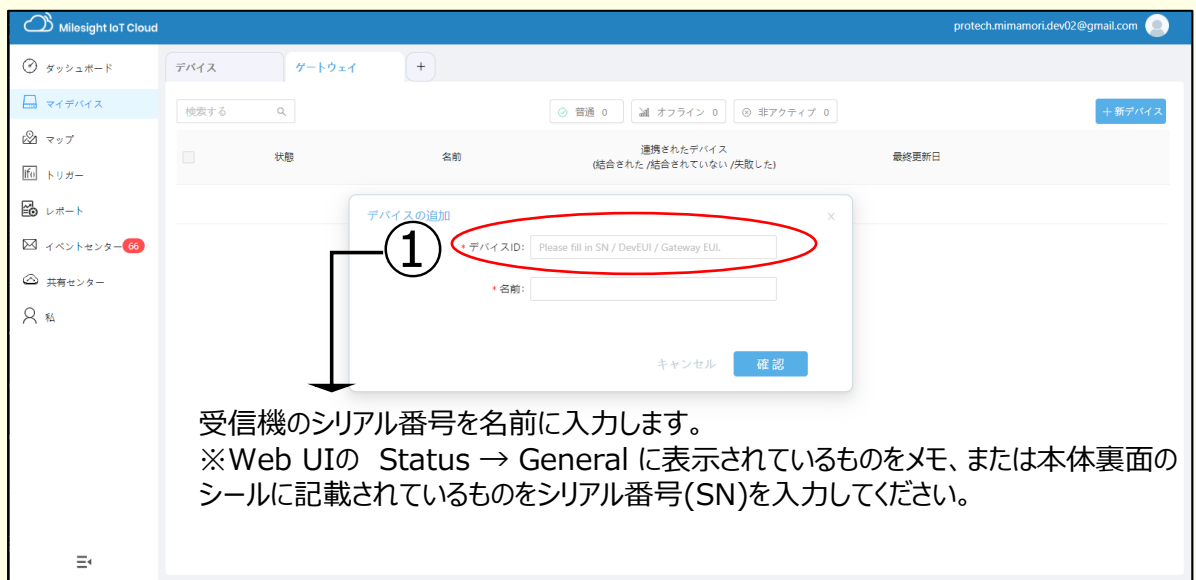
ログイン直後の画面



The screenshot shows the dashboard of the Milesight IoT Cloud after a successful login. The user's email address 'protech.mimamori.dev02@gmail.com' is visible in the top right corner. The dashboard features a left-hand navigation menu with items like 'ダッシュボード', 'マイデバイス', 'マップ', 'トリガー', 'レポート', 'イベントセンター', and '共有センター'. The main content area is currently empty, displaying a message: 'まだウィジェットを追加していません! ウィジェットの追加を開始するには、右上の「追加」をクリックしてください。' (No widgets added yet! To start adding widgets, click the 'Add' button in the top right.)

1. インターネットとクラウドを接続します。

- ① マイデバイスをクリックします。
- ② ゲートウェイをクリックします。
- ③ + 新デバイスをクリックします。



Antenna icon indicates that the device is connected to the Internet and the Cloud.

- 5 Green antenna icon is displayed until you wait for a while. If the antenna icon is not green after waiting for more than 3 minutes, please unplug the power adapter of the receiver from the power outlet, wait for about 30 seconds, and then plug it back in.

2. センサの登録をします。

1 Click the device.

2 Click the + New Device button.

- 3 Enter the SN (Serial Number).

4 紐付けする受信機（ゲートウェイ）の名称や、その他の情報が自動で入力されます。

5 センサの名称（任意の名前）を入力します。

デバイスの追加

- * デバイスID: 6141D1891294
- * 名前:
- * 関連ゲートウェイ: 検証用Gateway02
- * デバイスEUI: 24e124141D189129
- * アプリケーションキー: 5572404c696e6b4c6f52613230313823

キャンセル 確認

4 確認 をクリックします。

状態	名前	インターフェースの状態	アップデート時間
<input type="checkbox"/>	検証用 扉開閉センサ 02 6141D1891294	閉じる 状態	インストール... 設置状態 il ya 2 minutes

アンテナマークは受信機に接続していることを示しています。

5 センサの検知している状態が表示されます。アンテナマークが出ていれば接続が成功しています。

6 他のセンサも同様に登録します。P18の②に戻って残りのセンサを登録してください。

状態	名前	インターフェースの状態	アップデート時間
<input type="checkbox"/>	検証用 人感センサ02 6617D15673830004	空室 占有状態	2.831m 距離 il ya quelques secondes
<input type="checkbox"/>	検証用 温湿度センサ 02 6136D15805931007	23.5°C 温度	49.5% 湿度 il ya 9 minutes
<input type="checkbox"/>	検証用 扉開閉センサ 02 6141D1891294	閉じる 状態	インストール... 設置状態 il ya 7 minutes

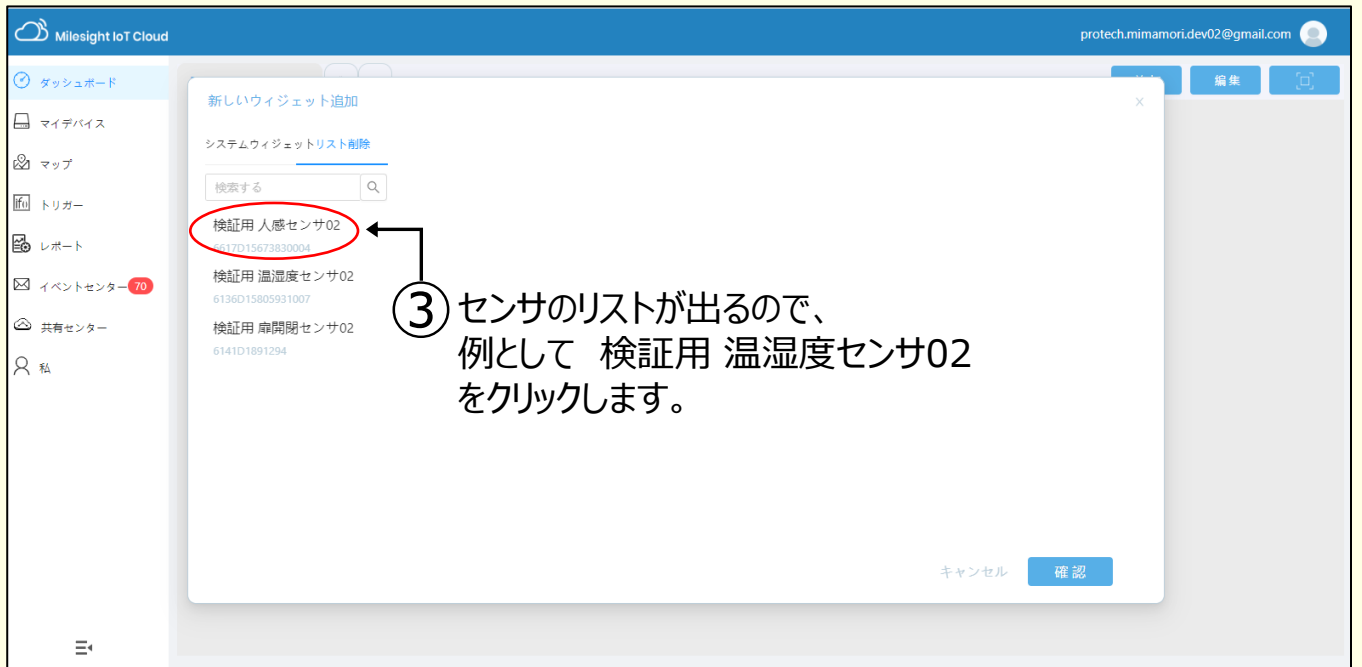
■ ダッシュボードの活用術を紹介します。

履歴を確認したり、視覚的に状態を知るために、ダッシュボードを利用します。

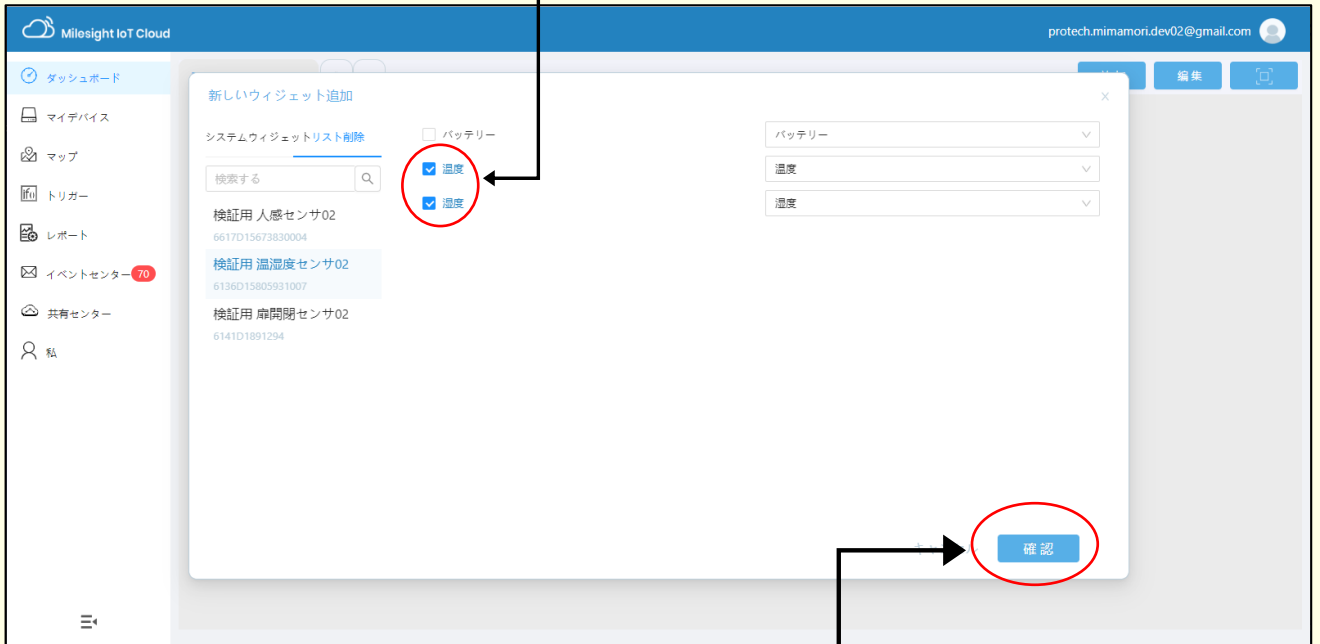
例1-1. 温度と湿度を表示します。

① ダッシュボード をクリックします。

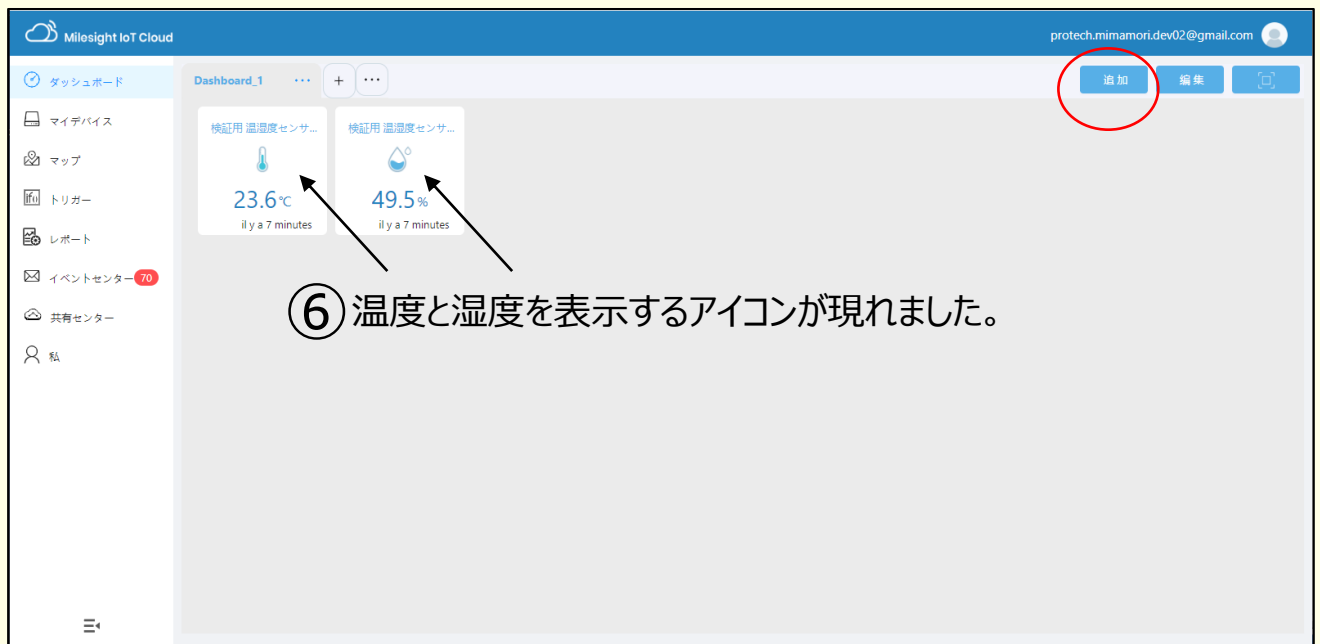
② 追加 をクリックします。



④ 温度 と 湿度 にチェックを入れます。



⑤ 確認 をクリックします。

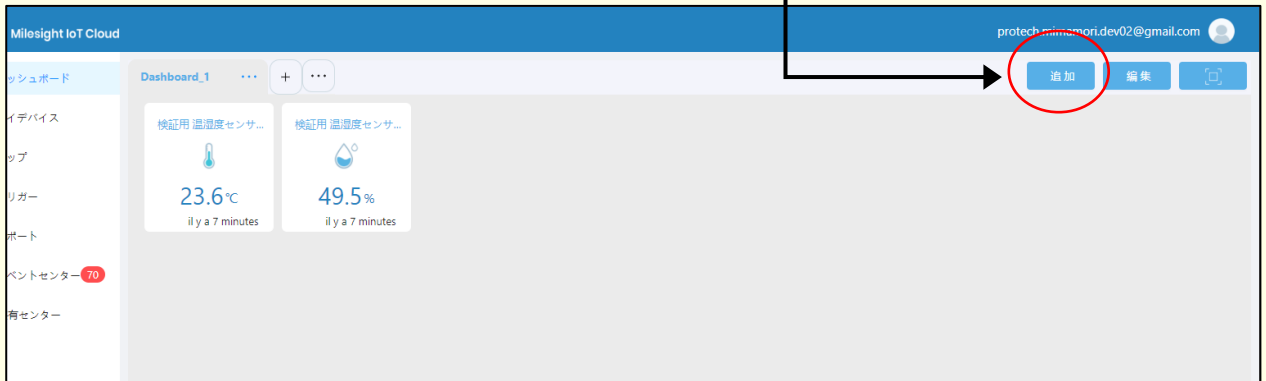


⑥ 温度と湿度を表示するアイコンが現れました。

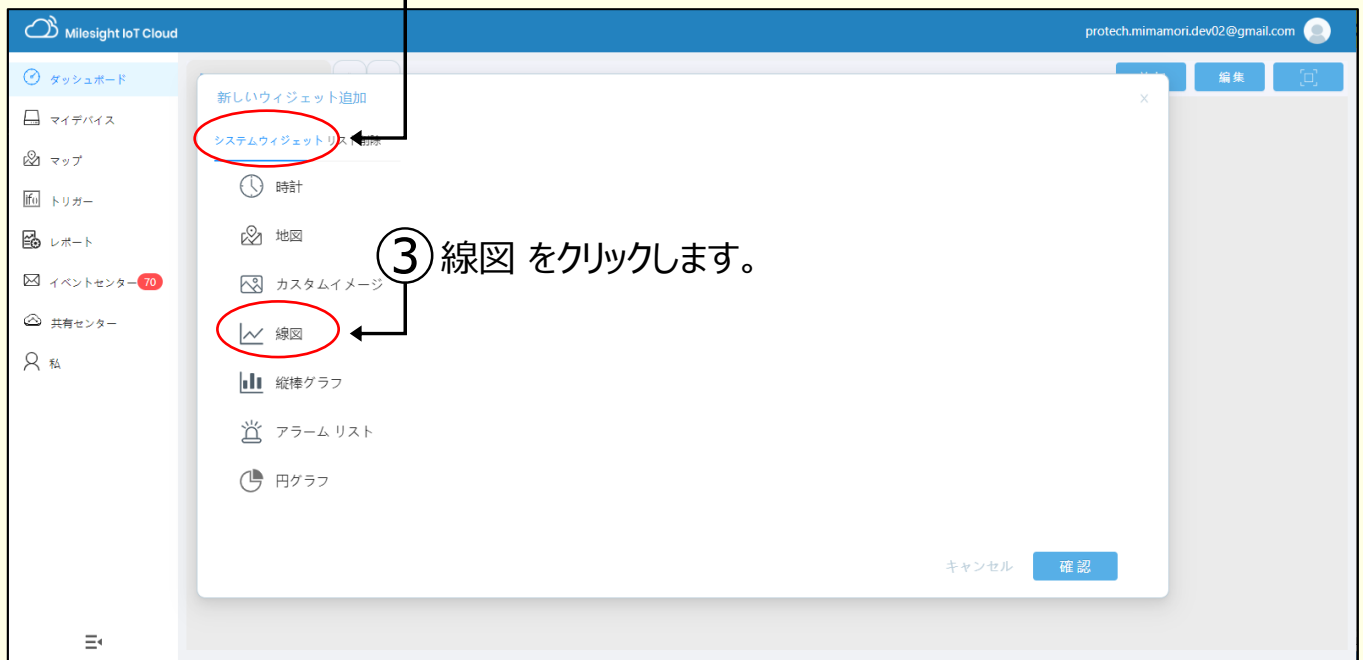
例1-2. 温度と湿度の履歴をグラフで表示します。

次に、温度と湿度の履歴をグラフで表示してみましょう。

① もう一度 **追加** をクリックします。



② システムウィジェット タブをクリックします。





④ 名称や表示時間（x軸）、y軸を任意の名称で入力します。

⑤ 線図でセンサを選択します。

⑥ 右隣の欄で検知する項目を選択します。

⑦ + をクリックします。

⑧ 再び温湿度センサを選択し、湿度 を選択します。

⑨ 確認 をクリックします。

⑧ 再び温湿度センサを選択し、湿度 を選択します。



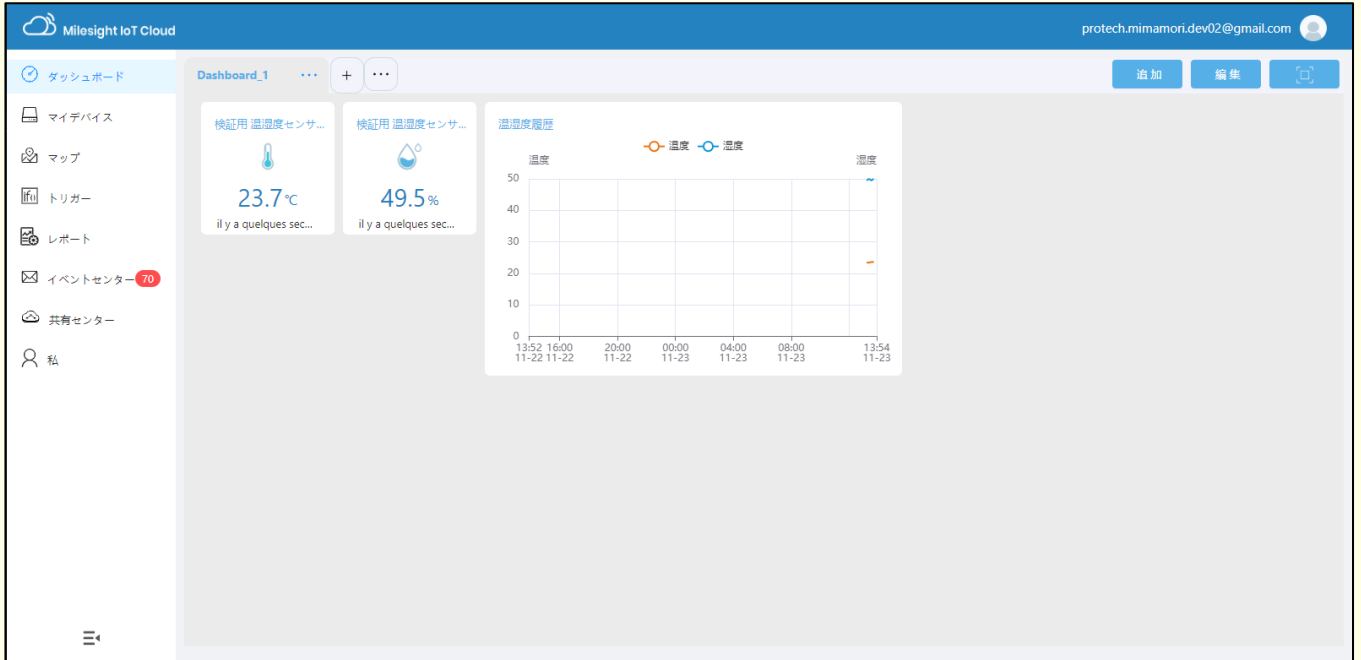
※設定例

確認

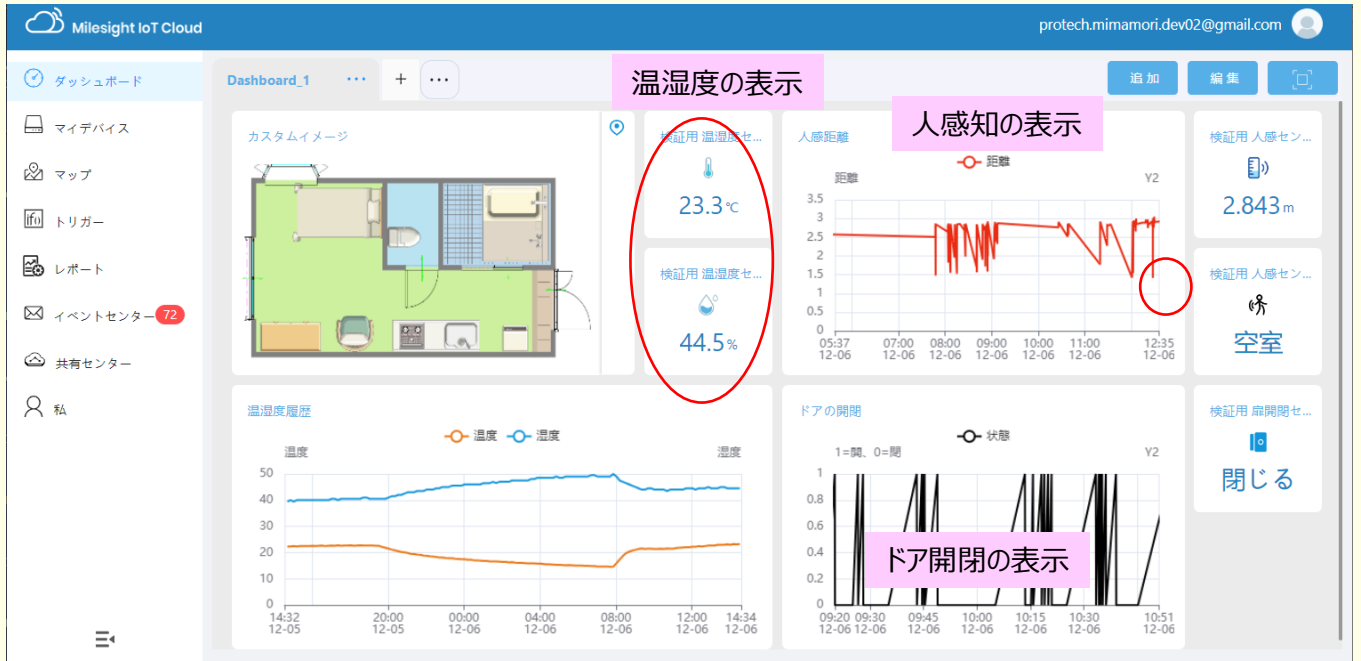




確認 後、温度と湿度の履歴が表示されました。



他のセンサについても同様に表示し、また部屋の間取り（絵）を追加し、次のような画面を作ることができます。



検知状態を受けてトリガーを出すことが可能です。

例えば、

『夜10時から朝4時の間に扉開閉センサが開放を感知したら、登録したメールアドレスにアラームメールを配信する』

ができます。

■ センサの情報の読み取り

センサのシリアル番号、Firmwareバージョン、センサのStatus、バッテリー残量、電波の周波数を調べたり、センサの電源ON/OFF/再起動、Firmware更新をするためには、Milesightのツールを使う必要があります。

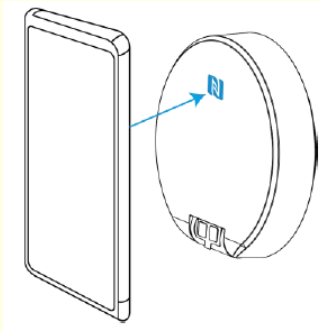
NFC機能のある携帯電話、もしくはNFC専用装置接続したPCを準備し、ツールをインストールしてください。

検索ワード

Milesight ToolBox (Google Play または APP Store)
Milesight ToolBox for Windows

このツールは、見守り画面にセンサを登録する時や、トラブル時のセンサ再起動の時に必須です。

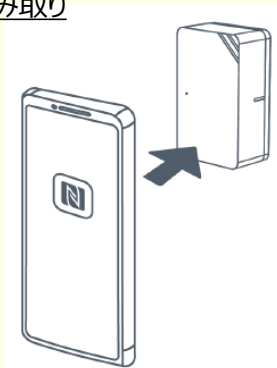
人感センサの読み取り



温湿度センサの読み取り



扉開閉センサの読み取り





読み取り結果の画面


EM300-TH-915M		
Status	Setting	Maintenance
SN	6136D08605971003	
Model	EM300-TH-915M	
Device EUI	24E124136D086059	
Firmware Version	V1.6	
Hardware Version	V3.0	
Device Status	ON <input checked="" type="checkbox"/>	
Join Status	Activated	
Reading Mode	NFC	
RSSI/SNR	-11/9	
Temperature	26.8 °C	
Humidity	56.0 %	
Device Time	2023-09-21 13:03	<input type="button" value="Sync"/>
Battery	100 %	
Channel Mask	0003	
Uplink Frame Counter	128	
<input type="button" value="BLE Read"/>		<input type="button" value="NFC Read"/>




仕様書

温湿度センサ		項目	仕様	
		型番	PTCARE-B300	
		無線通信	LoRaWAN (920MHz帯)	
		温度	測定範囲	-30℃～+70℃
			精度	0℃～+70℃は±0.3℃、-30℃～0℃は±0.6℃
			分解能	0.1℃
		湿度	測定範囲	0%～100% RH
			精度	10%～90%RHは±3%、10%以下または90%RH以上は5%
			分解能	0.5% RH
		バッテリー	寿命	10年 (10分毎に検知する設定の場合)
			交換	可能
動作温度		-30℃～+70℃		
防水性能		IP67		
サイズ		88.5 x 85.3 x 27 [mm]		

人感センサ		項目	仕様	
		型番	PTCARE-F330	
		無線通信	LoRaWAN (920MHz帯)	
		検知部 (ToF)	検知角	27°
			検知範囲	0.040～3.500 [m]
			精度	±2 [cm]
			分解能	1 [mm]
		検知部 (PIR)	検知角	80°
			検知範囲	最大 2.5 [m]
		角度変更		0, 15, 30, 45, 60, 75°
		バッテリー	寿命	約5年
交換	可能			
動作温度		-20℃～+60℃		
防水性能		IP30		
サイズ		Φ100 x 24 [mm]		

扉開閉センサ		項目	仕様		
		型番	PTCARE-E301		
		無線通信	LoRaWAN (920MHz帯)		
		検知範囲	10～15 [mm]		
		検知状態	Open / Close / センサ外れ		
		バッテリー	寿命	5年 (1日30回の開閉を検知する場合)	
			交換	可能	
		動作温湿度		-20℃～+60℃、90%以下	
		防水性能		IP20	
		サイズ		センサ部 50.5 x 31 x 18.5 [mm] マグネット部 30 x 13.5 x 10 [mm]	

受信機		項目	仕様		
		型番	PTCARE-D65		
		無線通信	LoRaWAN (920MHz帯)		
		チャンネル数	8		
		センサ接続可数	200個		
		イーサネットインターフェース	RJ45 (PoE)		
		Wi-Fiインターフェース	2.4GHz, APまたはClientモード		
		Cellularインターフェース	標準SIMカード x 1		
		その他	リセットボタン	あり	
			インジケータ	Power, Status, LoRa, Wi-Fi, LTE, ETH	
			ビルトイン	Watchdog, RTC	
		電源		9V-24V DC、またはPoE	
		消費電力		2.9W (typ)、4.2W (max)	
		動作温湿度		-40℃～+70℃、95%以下	
防水性能		IP65			
サイズ		180 x 110 x 56.5 [mm]			



発行日 (初版 1.01)
2023 年 12 月
発行責任
株式会社プロテック
〒721-0973
広島県福山市南蔵王町 6-18-40
TEL:084-943-6444

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取替致します。